

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携		農・林・水産業	
			地域医療・福祉・介護、教育		観光・交流	◎
			地域コミュニティ・集落再生		環境	
			地域交通・情報通信		まちづくり	◎
ふりがな		きっかわ しんじ				
氏名		吉川 真嗣				
所属	名称	村上町屋商人会／チーム黒塀プロジェクト／むらかみ町屋再生プロジェクト				
	役職	会長／事務局／会長				
連絡	住所	(公開)	〒 958-0842			
			新潟県村上市大町 1-20			(職場)
	連絡先	E-mail shin_kikkawa[アットマーク]ybb.ne.jp				
		TEL 0254-53-2213			FAX 0254-52-7436	
連絡方法		E-Mailでお願いします				
略歴		S39 年新潟県村上市生まれ S63 早稲田大学商学部卒 H2 家業の「味匠 喜っ川」に入社、近代化から町屋を守ろうとH10 村上町屋商人会を結成し「町屋の公開」を開始、「町屋の人形さま巡り」など町屋を活かした町おこしを始める。観光客ゼロから 30 万人の観光客が来る町になる。その後、黒塀プロジェクト、町屋再生プロジェクトを結成し、全国でも例を見ない手法で、景観づくりを開始。 市民による活動の実績が評価されH16 年国交省より観光カリスマに認定、内閣官房より地域活性化伝道師に任命される。H19 地方自治法施行 60 周年記念総務大臣表彰(個人表彰)を受ける。 手がけた活動は、H16地域づくり総務大臣表彰、H19国土交通省「手づくり郷土賞」、H20国土交通省 都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」、H21「ティファニー財団賞」、同年「内閣総理大臣賞」(あしたのまち・くらしづくり活動賞)など受賞。平成21年、フジテレビの人気番組ビートたけしの「奇跡体験・アンビリバーボー」で30分のドラマ化され「奇跡のまちおこし」として全国放映される。				
著作・論文等		*「町屋と人形さまの町おこし」【学芸出版社】吉川美貴著 *「心を育てる・地域・観光・人間力の教育～ソウじいさまが語る『むらかみ町おこしのお話』～」【明治図書出版】吉川美貴著				
取組概要		新潟県村上市は歴史ある城下町。平成9年、大規模な近代化計画が浮上。この中、町を守るための活動を開始した。それまで日陰の存在だった村上の古い町屋のもつ価値に光を当てる取り組みだった。町屋を活かし街の賑わいを取り戻せばきっと近代化を食い止めることができると思ったのだ。平成10年、生活空間である江戸や明治の町屋の内部が村上の財産だと確信し、生活空間である町屋の公開を22軒で始めた。話題を呼び、それまでゼロだった旅人が町に訪れ変化が起こる。更に2年後、タイムスリップしたような町屋の中に人形や屏風を展示して公開する「町屋の人形さま巡り」「町屋の屏風まつり」を企画し、旧町人町の町屋60軒で開催。一年を通し全国から 30 万人が訪れる町になる。しかしなおも近代化が推進されようとするその中、				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	平成14年、市民自ら村上のあるべき姿を示そうと歴史的景観作りを開始。「黒塀1枚1000円運動」を行い、ブロック塀だった塀を市民の力で黒塀に変える「黒塀プロジェクト」を行う。これまでに460mの黒塀が完成した。平成16年、町屋再生プロジェクトを開始、町屋再生のための市民基金をつくり町屋の外観の再生を開始した。平成26年からは空家の再生も手がけ、市民による全国で初めての取り組みで外観再生、空家再生あわせて現在41軒が再生。街は徐々に城下町の風情を取り戻しつつあり、一年を通しての街の活性化につながってきている。 一人から始めた取り組みだが、仲間ができ、やがて組織を成し、そして事を起こし、逆境の中にあって、市民の意識を変えながら町を動かす強力な運動体へと発展した。行政に頼らない市民主導のまちづくりとして全国から注目を集めている。		
メッセージ	組織なし、お金なし、経験なしでも、市民の力で、地域おこしは勿論、景観づくりまでできる。それを実践してきた話をお伝えしています。		
関連ホームページ	http://www.k-shinji.info/	活動エリア	

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。